

後期課程(春季入学試験)

2024 年 2 月 16 日

科目名	受験番号	
日本語	氏名	

- 1 次のひらがなの文章を、漢字・カタカナにできるところを漢字・カタカナにし、読みやすい日本語にしてください。(20 点)

「ふかくじつなみらいのために、げんざいをぎせいにするあのざんこくなきょういくをどうかんがえたらいいのか」とさげんだのは、『えみーる』をあらわして、きんだいきょういくがくのさきがけとなったじゃん・じゃっく・るそーである。いっけんげんざいのがっこうきょういくにもつうようしそうなこのげんせつのはいけい、「ざんこくなきょういく」とはどのようなことをさしているのでしょうか。このさげびのいみをりかいするためには、るそーがいきたじゅうはちせいきのよーろっぱしゃかいにおいて、どのようなきょういくがおこなわれていたのかをしるひつようがある。

るそーいぜんにおけるせいおうのきょういくかんのちゅうかくにあったのは、にんげんはおしえこむべきそんざいであるとするかんがえであった。おさないこどもは、どうぶつてきなそんざいであり、これをちょうきょうすることによっていちにんまえのにんげんにそだてあげるのだ。きわめてたんじゅんにいえば、るそーいぜんのせいおうしゃかいでは、こうしたちょうきょうてきなきょういくかんがしゅりゅうであったといわれている。

まなぶというこういがじゅんすいにのうりよくやぎじゅつのしゅうとくとしてかんがえられていたせいおうしゃかいとことなり、にっぽんではまなぶことをつうじてどうとくのじっせんしゃになることにもくてきがあるとかんねんされ、まなぶこととどうとくがふそくふりのかんけいにあった。てらこやにおいてたいぼつがほとんどそんざいしなかったのは、しゅたいてきにまなぶことができるのうりよくのかんようをじゅうしたしゅたいてきながくしゅうかんのけっかであった。

- 2 次の①～⑩の文には正しくない漢字の使い方をしているものが五つあります。その番号(①～⑩)を選び、正しくない漢字と正しい漢字を書いてください。(4 点×5=20 点)

- | | |
|---------------------|-----------|
| ① 名演技に <u>関</u> 心する | ② 事実と対照する |
| ③ 父の事業を警鐘する | ④ 交通規制を敷く |
| ⑤ 名月を観賞する | ⑥ 国を修める |
| ⑦ 江戸の仇を長崎で打つ | ⑧ 仕事を請ける |
| ⑨ 天ぷらを上げる | ⑩ 眠気に冒される |

- 3 次の①～⑤の下線部の読みを書いてください。(4 点×5=20 点)

- ① 愛敬のあるしぐさ
- ② 混迷の一途をたどった
- ③ 弊社にご案内する
- ④ 枚挙に暇がない
- ⑤ 「やせ蛙負けるな一茶これにあり」(小林一茶の句)

- 4 次の①～⑤の下線部に該当する漢字を書いてください。(4 点×5=20 点)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| ① 京の鬼門には <u>えんりゃく</u> じがある | ② 豊臣秀吉が <u>ひょうろう</u> 攻めで勝利した |
| ③ あの役者は <u>かつぶく</u> がいい | ④ 東大寺で大仏 <u>かいげん</u> 供養が行われた |
| ⑤ 良心の <u>かしゃく</u> を感じる | |

- 5 次の①～⑤の()に動詞を入れて、常体と敬語表現のペアにしてください。(4 点×5=20 点)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 例：先生が、言った | ・先生が、(おっしゃ)った |
| ① 好きなものを食べてください | ・好きなものを()ください |
| ② 今から説明いたします | ・今からご説明()ます |
| ③ 先生の家に行きます | ・先生のお宅に()ます |
| ④ つまらない物ですが貰ってください | ・つまらない物ですが()ください |
| ⑤ どうぞ先に寝てください | ・どうぞ先に()ください |

後期課程(春季入学試験)

2024 年 2 月 16 日

科 目 名	受験番号	採 点 欄
日 本 語	氏 名	

2	番号	正 ない 字 しく 漢	正 漢 しい 字		
	番号	正 ない 字 しく 漢	正 漢 しい 字		
	番号	正 ない 字 しく 漢	正 漢 しい 字		
	番号	正 ない 字 しく 漢	正 漢 しい 字		
	番号	正 ない 字 しく 漢	正 漢 しい 字		
3	①	②	③	④	⑤ う
4	①	②	③	④	⑤
5	①	②	③	④	⑤

前期課程（春季入学試験）

2024 年 2 月 16 日

科目名	受験番号	採点欄
中国語	氏名	

問 I の全文と II の下線部①～⑤を日本語に改めなさい。ただし②については書き下し文でも構いません。II の解答にはそれぞれ①～⑤の符号を冠すること。

I 刻石之风流衍于秦汉之世，而极盛于后汉。逮及魏晋，屡申刻石之禁，至南朝而不改。隋唐承北朝之余风，事无巨细，多刻石以纪之。自是以后，又复大盛，于是石刻文字，几遍中国矣。石刻之种类名称，倭指难数。有就形制言之者，有就文体言之者，有概名之曰碑者，错综纠纷，尤难分晰。

II 《集王圣教序碑》的流传可以简化王字书法的获得方式。①在信息封闭的年代，读书人虽然每天都在习字，但能获得可靠碑帖的途径却十分有限。《集王圣教序碑》则明确被记载为由王羲之字搜集而来，权威性毋庸置疑。

清人记载，②“米元章云：但取《圣教序》学之，更学右军诸札，使大小相杂，便成书”。③清人类似的说法，有一定道理，但没有较早的记载，完全采信尚有一定困难。④虽然我们尚未发现米芾学习《集王圣教序碑》的直接证据，⑤但从他本人十分重视其他集王书碑来分析，至少他有临习过类似集王书碑帖的迹象。

問題

二〇二四年度大東文化大学大学院【春季】入学試験 二〇二四年二月十六日
文学研究科 書道学専攻（博士課程後期課程）

科目名	
小論文	
氏名	受験番号
採点欄	

中国のある学者は、修養について次のように言っている。この文章を読み、修養と書の関係について、考えるところを二二〇〇字程度で論述しなさい。

修養という言葉は、伝統文化の中で多くの意味があり、それは知識・理論・思想などの一定水準を指し、また人格を養い陶冶することも指している。孟子がすでに「養」という字を用いている。「吾は善く吾が浩然の気を養う」（『孟子』公孫丑章句上）。宋代の程頤に至って初めて修養の二字を用いる。「修養すればこそ長寿を保ち……これらは全て、努力が徹底すると、自然にそういった反応があるものだ」（朱熹『近思錄』）。その他の論著における、いわゆる「学」・「識」・「養」・「徳」・「人品」・「気」・「気格」・「氣息」・「格調」などは、ほとんどが修養の範囲のものである。（『書法の形態と解釈』四六〇頁より）

